

玉名市都市計画マスタープラン策定に係る第3回市民ワークショップ 発表記録

開催日時	平成25年3月21日(木) 午後7時～9時20分			
開催場所	玉名市民会館 第2会議室			
スタッフ (事務局等)	都市計画課 三次課長、松野課長補佐、神永係長、森田主査、森川主任 玉野総合コンサルタント(株) 福岡支店 技術部 まちづくり推進課 松島課長、福満係長、石川係長、井上主任			
参加者 (28名)	北部地区	5名	西部地域	3名
	中部地区	5名	南部地域	4名
	東部地域	3名	南東部地域	4名
欠席者	欠席者 14名 (北部地区 1名、中部地域 4名、東部地域 2名、西部地域 3名、南東部地域 2名)			

南東部地域

まちづくりの進め方

- ・「合併浄化槽設置推進に向けた支援の実施」は、行政主体で進めていただきたい。
- ・「イノシシ対策の実施」は、柵の設置等でお金が掛かるため、補助金等の援助が必要。他地区もイノシシ被害で困っている。
- ・「市外小学生との交流イベントの企画運営」や「草枕温泉周辺における体験型施設の整備」は、行政の支援（補助金等）があれば、より様々な事が出来る。
- ・行政に「草枕の里」をしっかりPRをしていただき、様々なこと（「NHK朝の連ドラ等の誘致活動の展開」、「草枕の里を題材とした映画製作」等）を展開していきたい。
- ・「山村留学体験の企画・運営」は子供から大人まで体験できるものにしたい。
- ・人口が減少しているので、「新たな宅地の供給」、「若者が気軽に住めるアパート整備」が必要。
- ・実山公園から草枕温泉へロープウェイの整備ができれば。
- ・「自然を活かし健康で、交流のある癒しのまち」をテーマに掲げ、天水町の薬草を利用した取組みとイノシシを活用し、山村留学や健康的な宿泊施設等のイベント、体験ができるまちづくりがしたい。

西部地域

まちづくりの進め方

- ・本地域は魅力が少なく、課題が多い。
- ・「松原海岸」、「日岳」、「ほたるの里」を活かしていきたい。
- ・国道 208 号玉名バイパスの旧 208 号に向かう方面は、朝の出勤時はいつも混雑している。補助信号を設置する等して早急に対応していただきたい。
- ・案内板の整備を官民協働で進めていくべき（大野下のソテツや松原海岸までの経路が分からない）。
- ・本地域の 501 号線から海側は平地で、津波が起きたら避難の場所がない。早急に防災マップの見直しを進めていただき、地域事情に応じた避難場所を考えていきたい。
- ・国道 208 号と 501 号を南北に結ぶ道路の見直しを、防災面等も考慮して行なっていただきたい。
- ・コミュニティバスのルートの見直しと回送バスの活用をすべき（回送バスを回数券で乗れる等）。
- ・各地のイベントや祭りが紹介されたマップの作成と広報誌への掲載をすることで、地域コミュニティ活動の継続に繋がると考える。
- ・家族間、地域間のコミュニケーションは減り、地元を知る人が減ってきているので、語り部の発掘・育成を試みてはどうか。
- ・夏祭り等の助成を行なう「玉名21の星」は継続して欲しい。
- ・ほたるの里、日岳の整備が必要である。
- ・玉名の温泉（岱明町の潮湯、横島、草枕の温泉）が協力して、温泉手形等でPRしてはどうか。
- ・イベント開催のための駐車場の整備が必要である。
- ・シャクがいなくなったので、環境に対する勉強会を開いてはどうか。
- ・行政主体が多いが、行政から住民に「ここをしてほしい」という提案をいただき、協力して進めていきたい。

中部地域

まちづくりの進め方

- ・「地域住民と大学の交流」、「地域住民同士の交流」、「地域住民と観光客の交流」という三つの機会を作り、「活気のある交流の町 中部」というテーマを掲げた。
- ・地域住民と大学の交流がないため、大学施設が自由に利用できることが知られていない（グラウンド、体育館等の無料貸出しは可能）。
- ・地域住民と学生の交流の機会として、「学園祭への地域住民の積極的参加」、「地域まちづくり団体への学生の加入」が考えられる。
- ・そのために、「学生に学科・学年・サークル単位で呼びかけ」を行う。その結果、地域住民と交流がもて、九看大のPR等にもつながる。
- ・「地域住民同士の交流」のためには、「市民会館の改築」が挙げられた。それに伴い、「駐車場」と「市民会館前の信号機」が必要である。
- ・新玉名駅に案内板を設置し集客を図る。
- ・「温泉街」、「繁根木川周辺散策」マップの作成が必要である。
- ・菊池川、高瀬地区の歴史的文化的文化財、建築物をウォークラリー等でPRをしてはどうか。
- ・山田の藤までの案内板の設置が必要である。
- ・玉名温泉街の足湯の施設を改善することで、人の利用がもう少し活発になると思う。

北部地域

まちづくりの進め方

- ・「交流の場」、「住まい」、「基盤」、「制度」、「観光」を課題に挙げた。
- ・三ッ川・石貫地区のインターネット環境の向上を図り、人（若者）が来るような住まいの基盤整備が必要。
- ・農業振興地域等の土地利用規制の緩和、耕作放棄地を活用し、住宅分譲地として利用する。
- ・玉陵校区の小学校統合に伴う各小学校跡地を交流の場として有効活用してはどうか。
- ・小岱山、菊池川の案内板の整備、ウォーキングコースの設定。また、登山、観光やウォーキングをする人のための駐車場としてゴルフ場の駐車場を活用してはどうか。
- ・行政で「きっかけ」をつくってもらい、民間が維持管理をしていく。

東部地域

まちづくりの進め方

- ・歴史を重点に置き、「歴史のまちで安心して子供を産み育てる里づくり」をテーマとした。
- ・子育てに年寄りも一緒に、梅林天満宮や伊倉神社等を繋ぐルートで、歴史伝承の勉強会等を取り組んでどうか。
- ・青年団を復活させるべき。
- ・勉強会等を開いたりして、若者が活躍できる場を作る。
- ・官民協働で、梅林、小田地区を農業体験やホームステイのできる里山づくりを企画、運営してはどうか。
- ・それにより、訪れた人と地元の子供達の交流が生まれ、子供達も地域のことを勉強するのではないか。
- ・許可が下りれば、菊池川のグリーンベルトに桜並木を造りたい。
- ・菊池川河川敷の歩道の整備が必要である。
- ・官民協働で取り組む空教室の有効活用（年寄りと子供達を繋ぐ何か等）を図ってはどうか。
- ・伊倉小学校周辺の通行規制とバイパスを造るのであれば、中期的に予算の計上をお願いしたい。
- ・桃田運動公園の利用窓口の一本化が望ましい。
- ・運動公園で大会が開けるように施設整備（トラックを400mにする等）を行なって欲しい。
- ・全天候型グランドゴルフ場ができればいい。
- ・民間・住民主体で進めていかなければ、中々繋がっていかない。

南部地域

まちづくりの進め方

- ・官民協働でまちづくりを進めるべき。民間は、地域主体で個別に進め、行政には交通アクセスの問題をお願いしたい。
- ・景観についての企画、運営をする組織の立ち上げが必要である。
- ・観光PRのために、地域マップ、案内板を作成するべき。

- ・平成8年に「水運の道」に指定されており、菊池川の有効活用を図るべき。
- ・菊池川堤防改修工事による空地の有効活用（公園等）を図るべき。
- ・桜を植える等、景観に配慮して、改修工事を進めていただきたい。
- ・交通アクセスについては、行政と地域がコミュニケーションを取りながら、長期的に進めていくべき。
- ・本地域の豊富な農産物、水産物をPRすべき。

(参考) 第3回ワークショップの開催状況

